池田町立会染小学校

（１）学級数　９学級
（２）児童・生徒数　１73 名
（３）職員数　27 名
（４）学校紹介　https://aisome-el.ikedamachi.ed.jp/

会染小学校は令和４年度に開校 150 周年を迎えた。北アルプスの山々をバックに緑豊かな田園地帯が広がる自然環境に恵まれた場所に学校がある。肥後守(ひごのかみ)を使った教育を始めてから 44 年目を迎えた。肥後守を通して、学年を越えた支え合いの姿が見られる。学校教育目標「自らうごく会染の子ども」の実現に向けて、子どもをまんなかにして取り組んでいる。

（５）日常的な情報機器の活用

学びの選択肢の１つとして

GIGA スクール構想による１人１台端末の導入初期の調べ学習や、デジタルドリルを用いた学習の復習といった活用から始まり、現在ではより協働的で主体的な学びのツールへと定着してきている。例えば、Padlet やスプレッドシートを利用した学習のポートフォリオや、情報共有が日常的に行われている。Classroom へのストリームの投稿や授業課題等は、持ち物や時間割を確認するための普段の子どもの生活を下支えする役割をもっている。また、個人での作業にとどまらず、Google ドキュメントを利用した共同での原稿作りや、Canva を活用したデザインやポスター作成、さらには校内放送用の番組制作など、子どもたちの表現力や協働性を育む活動で幅広く活用している。

【図工６年 Padlet】

子どもが生み出す使い方

さらに学習場面だけでなく、池田町が取り組む“子どもがまんなか”の行事運営においては、行事に向けて意識を高めるためのオープニング動画を作成したり、家庭配布用のプログラムを作ったりしている。これまで職員が行っていた計画や準備、運営など、行事運営に関わる役割を子どもたちが自ら実践していく流れの中で、子どもたちがICT機器を選択して活動へ取り組む姿も多い。

【児童作成「音楽会新聞」】

伝統と最先端

どのクラスでも ICT 活用を可能にしているのは、１年生での導入にある。入学式を終えた翌日には６年生のペアと顔合わせをし、７日目には外へ出て Chromebook でチューリップの写真を撮る。肥後守の使い方を６年生が１年生に教えるのと同様に、普段の６年生や上級生の使いこなしから、１年生が憧れをもち、使えるようになっていく姿もある。

【１年学級懇談会資料より】

また、Gemini Notebook を利用した学級懇談会の資料の作成等、校務での活用も積み重ねてきている。

（６）課題等

現在の本校の ICT 活用の重点は、ICT 機器を使うことが目的ではなく、子ども自身が「選び、考え、表現する」ための学習アイテムとして選択できるということにある。入学時からの積み重ねを維持していくこと、ICT 機器を主体的・協働的に使っている子どもの姿を授業や生活の中で大人がどのように見ていくのかを課題としている。